

- 1 会議の名称 中濃特別支援学校 第一回 学校評議員会
- 2 会議の構成
- |         |         |                |          |
|---------|---------|----------------|----------|
| 【学校評議員】 | 中島 望 様  | (株)DAI         | 取締役      |
|         | 小島 祐治 様 | (社)関青年会議所      | 理事長 (欠席) |
|         | 植野 明 様  | 向山町自治会         | 会長       |
|         | 杉山 祐子 様 | 中部学院大学短期大学部    | 教授       |
|         | 伊藤 園美 様 | 岐阜県立ひまわりの丘第一学園 | 次長       |
| 【学 校】   | 校長      | P T A会長        | 事務部長     |
|         | 小学部主事   | 中学部主事          | 高等部主事(2) |
|         |         |                | 教頭(2)    |
|         |         |                | 教務主任     |
- 3 会議の目的 学校運営の改善に資する意見や助言を幅広く聴取する。
- 4 会議の開催 令和元年6月26日(水)
- 5 会議の概要
- ・学校概要説明
  - ・各学部教育活動重点紹介
  - ・作業製品価格設定検討
  - ・授業参観
  - ・学校評議員様からのご意見、ご提言

- 意見1 学校のことを知らずに実習等を引き受けてきたが、今回で学校の様子がよく分かった。普段の学校での作業の様子を見ることができ、一企業として、協力できることがあれば、今まで以上に協力したい。(中島様)
- 意見2 作業販売が何回か計画されていて、中部学院大学でも販売の計画があるようなので楽しみです。(杉山様)
- 意見3 作業製品を売った儲けを生徒に還元できないだろうか。お金でなくても県教委からのお礼状のようなものでもないと生徒さんたちの励みになると思う。(植野様)
- 意見4 授業の様子を見て、学園の生活との違いがよくわかった。体調不良や通院などで学校をお休みする場合は、児童生徒が不安定になる。それだけ学校が楽しいのではないかと考える。高等部は進路が決定しなければならない。今後も協力、連携していきたい。(伊藤様)

## 6 会議のまとめ

評議員の皆様のご協力、ご支援で学校を良い方向へ進めることができている。

障がいのある方、ない方とも、生きにくさを感じるのは同じ。みんなが支えあって生きていけるように教育実践していきたい。

本校の児童生徒は自分で外部とのつながりを作ることが難しい。交流や実習を通して、学びあいながら生きていけるような環境づくりに努めたい。

今後とも積極的にアドバイスいただきたい。